

# ツリーカフェ安全管理マニュアル

作成日:2018年2月4日

組織名(住所):ツリーカフェ(520-1653滋賀県高島市今津町岸脇 )

組織連絡先:電話090-7555-5304 メール:

安全管理責任者:村尾嘉彦

安全管理責任者連絡先:電話090-7555-5304 メール:

主な事業:ツリーイング(ロープなどを用いた木登りとレクリエーション法)によるアクティビティ

## 1 安全管理方針(安全の考え方、指導団体、参加者の責任範囲、安全管理マニュアルの運用等)

---

### 1 安全の考え方

#### 1 危険予知と対策の徹底

想定できる危険を先取りして予知し、対策を講じます。

また万一の事態に備えた準備をして、スタッフ・参加者・施設管理者など全体に共有します。

焦って手順を省いたり短縮したりせず、一つずつ丁寧確実に対応します。

#### 2 ルール・マナーの遵守

約束事、道具の扱い等、安全を確保し快適に活動するためにルールやマナーを守ります

ちょっとぐらい、という気持ちは、ここではなしです。

#### 3 自分の命を再優先に、自分の安全は自分自身で守る意識を各自が持ちましょう。

その上で、現場にいる方々全てに、協力を呼びかけて下さい。

#### 4 安全再優先

### 2 指導団体

#### 1 NPO法人ツリーマスタークライミングアカデミーおよびTMCA近畿中国のメンバーとして

安全管理と組織運営に関わっています。

#### 2 日本エコツーリズムセンター団体会員としてツリーカフェの研修受講及び体制整備を行います。

### 3 参加者の責任範囲

#### 1 服装・持ち物・集合時間等の事前連絡を守り、不足や疑問があれば参加前にご申告下さい

#### 2 自身の体調や病気・障害について、必要な申告を行うこととします。

#### 3 参加中に自身が感じた不具合や不安について、スタッフに随時ご連絡下さい。

### 4 安全管理マニュアルの運用

#### 1 当マニュアルは適切に公開することとします。

#### 2 当マニュアルはスタッフ及び参加者が把握出来るようにします。

#### 3 当マニュアルは、日本エコツーリズムセンター会員更新時期に定期更新し審査を受けます。

また事故時やプログラム新設時などに検証して不定期に見直します。

### 4 安全管理責任者について

#### 1 日本エコツーリズムセンターの認定に沿った安全管理責任者をおきます。

## 2 予想される危機への対応(組織、プログラム、フィールド、参加者の各視点)

---

### 1 組織【緊急時の役割分担】スタッフ・参加者・会場関係者を含む

#### 1 要救護者の側から離れず、対応に当たる

#### 2 事故状況の記録 (後回しにしがちですが、その時にしないと分からなくなります)

#### 3 要救護者以外のお客様の安全管理

#### 4 渉外担当(マスコミ・インターネットへの対応は、誠実にかつ担当を定めて出来るだけ書面で)

## 2 プログラム・ツリーイング

- 1 プログラムの目的・進行時間・ルールを説明し、リスクの存在およびお客様自身に安全管理して頂く範囲を明確に説明する。
- 2 恐怖・不安への対応
  - 木を抱く。下げる。一旦下ろす。ランヤードを使う。声をかけ続ける。
- 3 地上への落下物を防ぐ。万が一の際に被害を減らす
  - 説明をする。紐をつける。
  - ヘルメットをつけておく場所を説明する。地上でのサインを用意する
- 4 無理な力を使った身体への負担を減らす
  - 適切なサイズのギアを使用する。途中で迅速に変えること。予備のギアを用意しておく。

## 3 フィールド

- 1 催行基準…安全に・楽しめるかを基準に判断する。数字等にこだわらず安全側に判断する。
  - 1 気象…次の場合にはツリーイングを中止する。
    - 1 会場及び重要な交通路に気象警報が発令された場合
    - 2 気温がマイナス5℃以下もしくは35℃以上の時
    - 3 危険を感じるような強風の場合(揺れ・物品管理・落枝対策)
  - 2 人の心身
    - 1 スタッフが心身とも安全に業務遂行出来るか
    - 2 参加者自体の心身の健康状態
      - 1 参加者同士の意思疎通(リスクあるアクティビティへの参加について)
      - 2 ふざけ合いの程度、抑圧、表情の無変化などに注意
  - 3 木とフィールドの使用が出来るか<言葉ではなく感覚を重視すること>
    - 1 枝折れ・葉がピンとしているか・地面に荒らされた様子がないか等
    - 2 周辺で大きな音の出るイベントはないか
- 2 下見を行う必要がある場合の実施方法・基準
  - 1 方法
    - 1 (頻度)定期会場:半年に一回・不定期会場:当日1ヶ月以内
    - 2 (時期)当日と同じ曜日や季節・時間での確認を予想し実施する
    - 3 (範囲)会場への交通路も意識する
  - 2 基準
- 3 (視点)
  - 1 安全に・楽しく半日以上を過ごせるか
  - 2 事故の際に、周辺で対応が出来るかどうか
- 4 天候…催行する場合
  - 1 事前に持ち物・服装等を十分に確認すること。
  - 2 予報に関わらずスタッフレインウエア・傘・ブルーシート・緊急避難場所を確保すること。

## 4 参加者

- 1 ルール・マナーの遵守よろしくお願ひいたします。
  - 約束事、道具の扱いに至るまで、安全を確保し快適に活動するためにルールやマナーを守ります
  - ちょっとぐらい、という気持ちは、ここではなしです。
- 2 参加者の健康状態の把握方法
  - 1 保険記入用の名簿にてチェックして頂く・集合時の説明と聞き取り
  - 2 項目:腕や足、首を上げたり力を入れたりした時に病気や怪我の悪化がないか
    - ※具体的な病名ではなく、影響を与える体の動きや活動・場所の特性を伝えること。
- 3 参加者の安全管理のために必要な情報については、全スタッフで事前に共有する。

### 3 事故発生時の対応(緊急時対応のフローチャート及びその解説)

---

- 1 事故が起こった際の基本対応
  - 1 負傷者の救護
    - 1 救命処置
 

単純な消防等の応急処置を基本とします
    - 2 危険防止
      - 1 負傷者・救護車以外の安全確保
 

集合地の施設に協力を依頼し、安全確保に努めます
      - 2 負傷者の救護
        - 1 消防・地元医療機関への連絡と引渡しを最優先に行います
        - 2 薬の処方を行わず、患部の冷却や安静にして痛みや苦痛の軽減を図ります。
    - 3 警察への連絡(死亡等命に関わる事故の場合)
    - 4 事故の記録を取る
      - 1 写真を撮ります
 

場所・時間を迅速に記録するため、デジタルカメラ等で撮影し、記録に活用します
      - 2 保険用書面の項目を用意しておいて確認し、記録漏れを防ぎます
    - 5 保険会社へ連絡
      - 1 担当の保険代理店へ連絡します
 

書面に記録し、それを読みます。記憶を辿るのは避けます
      - 2 団体保険につき、エコツーリズムセンターにも連絡します
    - 6 負傷者への誠意を持った対応
      - 1 当日・治療中
 

負傷者・関係者へのお見舞い、お詫びを、迅速に行います。
      - 2 事後
 

負傷者・関係者へ回復状況等をフォローし続けます
- 2 救命処置チャート ※安全管理ハンドブックを参照
  - 1 周囲の状況と事故者の様子の把握
  - 2 救助に向かうか協力者を得るかの判断
  - 3 救命処置を施す
  - 4 救命処置後
  - 5 運搬
  - 6 専門医への引き渡し
- 3 交通事故・災害等プログラム外での対応
  - 1 プログラム前後に参加者が事故や災害にあわれた場合
    - 1 日程変更や代替プログラムが可能なことを提示する
      - 1 無理に予定に合わせようとするしない
      - 2 リスクを提示する。濡れ・冷え・交通の遅延等。
    - 2 スケジュール変更で可能な場合は料金を含めて提示する
      - 1 特に遅れる場合は、片付けや日暮れ・渋滞等のリスクを考慮する

### 4 緊急連絡先(連絡先一覧)※別紙1参照のこと

---

- 1 消防・警察
- 2 医療機関
- 3 ツリーイング関係者

- 4 会場・施設管理者
- 5 保険代理店

## 5 トレーニング頻度(ガイド・指導者のトレーニングの頻度とその内容を示す項目)

---

- 1 スタッフの資格
  - 1 TMCAの資格保持者をツリーイングのスタッフとします
  - 2 当日に技術チェックを行う。不確かな場合は、指導実習後にスタッフとします
  - 2 その他のスタッフには、ロープその他の道具には触れないことを徹底します
- 2 トレーニングの頻度
  - 1 ツリーイングインストラクターの研修を年1回受講します
  - 2 外部指導スタッフの技量は、事前にマニュアル等を把握して頂き、当日確認します。
  - 3 エコセン保険更新を通じて、マニュアルの確認を行います。  
また、リスクマネジメント講習を2年に1回受講します
  - 4 地元消防の応急処置講習を年1回受講し、意識・技能向上と交流に努めます。

## 6 個人情報保護について

---

- 1 収集する個人情報の種類と利用方法について
  - 1 お客様本人の氏名・年齢(必要に応じて生年月日)・住所・電話番号・電子メールアドレス・SNSアカウントおよびお客様の保護者や緊急連絡先の氏名・電話番号を収集します。
  - 2 6.1.1の個人情報は、ツアー事前事後のお客様との連絡と、保険加入のための名簿作成、およびツリーカフェの宣伝広報に用います。
- 2 個人情報保護の方策について
  - 1 収集した個人情報を保存したPC・携帯電話等は、全てパスワード等による保護をします。
  - 2 収集した個人情報を記した書類は、他のものと分けて管理し流出や紛失に防ぎます。
  - 3 廃棄の際は、書類はシュレッダーにかけます。HDDは物理的に破壊します。
- 3 個人情報の削除や提供要請について
  - 1 収集した個人情報について、本人や保護者から依頼があれば、その種類等の回答や削除に、迅速に応じます。
  - 2 収集した個人情報について、公共安全に関わる機関からの要請があれば提供することがあります。

## 7 用具・装備の管理について

---

- 1 事業実施時の資機材一覧(別紙2)
- 2 個人装備・団体装備(別紙2)
- 3 資機材点検方法
  - ・金属製品は目視で、繊維製品は目視および触って確認する。
- 4 資機材メンテナンス方法
  - 【特にロープについて】土砂付着や濡れの際は、その都度洗濯する。
- 5 資機材の交換時期目安
  - ・製品に付属するマニュアルに使用期限がある場合は遵守する。
  - ロープ、ヘルメットについて最大5年、スリングなどもそれに準ずる。